

刊夕日三廿月十



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
電話 五〇五 二五五 一五五 五五五
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

暗示誘導力と

生物の進化

森澤 允晴

（承前）

如何なる生物も、感受性を有して居ります。此の感受性が、生物を進化發達せしめた最大の原因であると思ふのであります。今此の點に付いて、蛙を例にとつて説明して見ることに致しませう。或種の蛙は、青色をして居るが、このカヘルは初代から青色をして居たのではあるまい。カヘルは幾十年も生きるであらうが、此のカヘルは自己の生存せる四圍が青色の草である爲めに、カヘル自身の色が、これと異つて居ては頗る

ノート

松茸は赤松の根元には生ずるが黒松の根本には生じない黒松の根は砂中深く入つてゐるので寄生しにくい

都合が悪い爲めに、カヘルは絶えず草と同色ならんことを欲する。勿論意識的に欲したり願つたりした譯ではないが、青い世界乃至は其の環境が、或程度カヘルを支配したに相違ないのであります。今、このカヘル

根本的原理を打ち立つることが出来るのであります。人間同志の間に於ても同様のことが言へる。常に幸福な人は、よき暗示力を持つて居る人であつて常に不幸を嘆ずる人は、弱き悪い暗示力の所有者であると共に自己一代の不幸のみに止まらず、自己の子孫末世に到るまで、不幸を引き繼ぐ罪み深い人であると言はねばなりません。

明日の立献

- 【朝】清汁—まつたけ あられ豆腐 小付—らつきやう
- 【晝】煮肴—鮮魚
- 【晚】煮込おでん—大根 里芋 竹輪 油揚 茶めし

積善の家には餘慶あり云々の言葉がありますが、生物進化の道程と其の根本約動因とを斯様に考究して見ると、此の言葉の眞理であることが判る。熊崎式先天運推理學により、生年月日を調べ、其の先天星に剛星（この星は特に女性に對し孤獨運を意味する）がある人は、親が偶然附けた姓名の數理に、二十一、二十三、三十三、其の他の孤獨運が構成されて居る場合が多く又其の兩親乃至は祖父母は

多く、孤獨運の所有者であると共に、斯の如き定系の人々は子孫代々末世に至るまで、この運が附きまとうのであります。此の事實は讀者諸君に於て己に御承知のことと思ふのであります。生功の進化及暗示力等のことから考究しても、ある程度の科學的な立證が可能ではなからうかと考へ、且つ姓名學講學上に何等か關聯する處あるを思ひ、拙文を掲げて御參考に供した次第であります。科學的方面より理究するも、科學的に證明される處に、熊崎式姓名學の近代性と永久性とが嚴存するものと一般より思惟される所以であります

有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
一、固定給の外旅費支給す
御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ
（明治十四年創立）
（明治十四年創立）
（保險の開祖）

明治生命保險株式會社
所長 小野 康
平野 勝
事務 仲 町

秋と冬の 中折ボーシ

優良國産品

特選ウール帽	¥2.00
フワー帽	¥5.50
セラフイック帽	¥6.00

スマートな型と色……
御年配若人向……
好適品豊富に取揃へ

ツルヤ

電一四〇

外科 柳病科 専門

木村科醫院

自致入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋際

科外 X 光線科

安齊外科醫院

平町田町
電話四七五番

銀座へ 御越

獨特な奉仕献立

紅茶	一〇
一品料理	二〇
ランチ	五〇

御宴會・御集會・御相談次第
電話五七五番

磐城共濟病院

（福島縣平町）
電話六四一番

小兒科	院長 石山謙一郎
婦産科	部長 賀一忠
外科	部長 五十嵐雄二
耳鼻咽喉科	部長 坂本眞一郎
皮膚泌尿器科	部長 澤正
花柳病科	部長 澤正
X光線科	部長 澤正
衛生試驗所	部長 澤正

藥局 局長 高石山 謙
藥劑局長 吉本利雄
事務局長 鈴木木寶雄

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎夜間診療開始（毎夜午後十時マデ）
◎病室完備 入院隨意

秘にか

策戦を練る

各校の熱球振り

大會旬餘の後に迫り 巨砲の陣に萬丈の氣

本社主催 中等教員野球大會は愈々旬餘の後に迫り目下参加チームは必勝を期して猛練習に寧日なき有様で秘かに策戦を練つて居るが各校の熱球振りを偵察するに

警中 毎日薄暮まで

自校の球場を所せまじとばかり駆廻つて烈しい練習を行つて居り投手は大體豪球を以て鳴る新谷氏らしく野球選手を相手に盛んにピッチングの研究を續けてゐるが最近非常なコントロールを見せ打撃は山本、野口、谷澤三氏がスラッガーぶりを發揮してゐるとか

平商 「試合第一」を

モットーとして同校學生チームと對抗練習試合を行つてゐる、投手は若松、清水兩氏らしく武川萱原氏が健棒の威力を見せて断然優勝して見せると大した鼻息で萬丈の氣を吐く

警女

平町教員間隨一のスタープレーヤー大内氏を擁してゐる此のチームは裕然たるものである、「練習も過劇に失しては駄目だ」と毎日放課後、時間を限度として練習してゐる

平商・警中の健棒何ものぞ！とばかり鈴木、新妻、土岐、永島、松浦、大内といふ巨砲陣を布いて長打の競争だ！緩急の杉浦投手、速急の大内投手と全然球質の反對な兩投手をマウンドに送つて敵の強打者連を眩惑させやうといふ戦注仲々見事なものがある

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

白熱戦に 胸躍る感 譲らぬ闘志に 覇者は何れ？ 三チームともスパイに備へ

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

靖國神社例祭 平町各小學校は本日の靖國神社例祭日に當り夫々國旗を掲揚校長の訓話があつた

司令官臨席 動員事務

平署管内検閲

平署管内各町村兵事主任の第二師團召集徵發事務檢閲は二十三日午後一時から飯野小學校に於て福島聯隊區司令官眞山大佐臨席の下に行はれたが更らに同日午前九時から平署會議室で駐在巡査の爲に執行する

本郡新米の走り

早くも平農業倉庫に入る

平穀物検査所管内各農村では昨今漸く稻刈を初めたばかりで目下平地方への新米は主に中通り方面から移入されて居たが本日郡下に於ける本年度新米のトップを切つて草野村字泉崎猪狩金之助氏が同検査所に十俵を運搬検査を受け平農業倉庫に保管を依頼し來月一日の共同販賣に出荷される事になりその手早さに今稻刈り

最中のお百姓さん達を吃驚させた

兒童籠球延期 既報來る二十九日平第一小學校々庭に於て開催する筈の第三區(平町外十五校)兒童籠球大會は都合に依り三十一日に延期された

市外通話擴張 平郵便局の市外通話區域に本日より新たに編入されたのは

磐城高等女學校は明治四十四年開校、大正二年第一回の四十名を最初に現在迄二十二回合計二千五百五十三名の卒業生を送り出したが内死亡した者は第四回卒の九名を筆頭に合計百七名あり各地散在別は左の如くである

石城一、五九三 双相一 四一 其他縣内九〇 茨城一一七 他府縣三五八 北海道一一 朝鮮一二 臺灣八 滿洲九 樺太二 米國四 南洋三 那一

不明九七 平町 人事 回死 亡

△新川町二八 鈴木斧二益

市原醫院 平町 田町 電話一四四番

氏(五九) △杉平一六 寛治氏長男猪狩養春さん(二〇) △三丁目一九 傳十氏養女山崎セイ(三四)

發電所披露 福島、有志を招待 茨城兩縣下に配電區域を敷く東部電力會社は豫てより平地方並に遠距離送電用として飯野村谷川瀬に今春變電所を新築中であつたが此程竣工を見たので同社では來る廿七日午後五時より地方有志を平町二丁目谷口樓に招待し披露の宴を催すと

見本繭の代金を 仲買人から徴收 既報石城地方の本年度養蠶は生糸安の見越から春秋共に掃立減を來し昨年に比し春繭一萬五千貫、秋繭三萬貫が減じた結果市場の出廻り薄に窮した仲買人は血眼で買出しに狂奔して居るが最近一部仲買人は石城販賣利用組合平農業倉庫が市場閉鎖後養蠶家より買取つた繭二千石に眼を付け盛んに見本繭を請求するので同組合は本日より見本繭代を左の如く決定仲買商から徴收する事になつた

(晩秋蠶)十貫目に付百圓 (春繭白及び同黄)十貫目

遠くは米國まで 磐城高等女學校の散在別

不明九七 平町 人事 回死 亡

料金四十錢の栃木縣眞岡局 同一圓廿錢の静岡縣濱松局 である

見本繭の代金を

仲買人から徴收

既報石城地方の本年度養蠶は生糸安の見越から春秋共に掃立減を來し昨年に比し春繭一萬五千貫、秋繭三萬貫が減じた結果市場の出廻り薄に窮した仲買人は血眼で買出しに狂奔して居るが最近一部仲買人は石城販賣利用組合平農業倉庫が市場閉鎖後養蠶家より買取つた繭二千石に眼を付け盛んに見本繭を請求するので同組合は本日より見本繭代を左の如く決定仲買商から徴收する事になつた

(晩秋蠶)十貫目に付百圓 (春繭白及び同黄)十貫目

遠くは米國まで 磐城高等女學校の散在別

不明九七 平町 人事 回死 亡

△新川町二八 鈴木斧二益

市原醫院 平町 田町 電話一四四番

氏(五九) △杉平一六 寛治氏長男猪狩養春さん(二〇) △三丁目一九 傳十氏養女山崎セイ(三四)

發電所披露 福島、有志を招待 茨城兩縣下に配電區域を敷く東部電力會社は豫てより平地方並に遠距離送電用として飯野村谷川瀬に今春變電所を新築中であつたが此程竣工を見たので同社では來る廿七日午後五時より地方有志を平町二丁目谷口樓に招待し披露の宴を催すと

見本繭の代金を 仲買人から徴收 既報石城地方の本年度養蠶は生糸安の見越から春秋共に掃立減を來し昨年に比し春繭一萬五千貫、秋繭三萬貫が減じた結果市場の出廻り薄に窮した仲買人は血眼で買出しに狂奔して居るが最近一部仲買人は石城販賣利用組合平農業倉庫が市場閉鎖後養蠶家より買取つた繭二千石に眼を付け盛んに見本繭を請求するので同組合は本日より見本繭代を左の如く決定仲買商から徴收する事になつた

(晩秋蠶)十貫目に付百圓 (春繭白及び同黄)十貫目

遠くは米國まで 磐城高等女學校の散在別

不明九七 平町 人事 回死 亡

△新川町二八 鈴木斧二益

市原醫院 平町 田町 電話一四四番

氏(五九) △杉平一六 寛治氏長男猪狩養春さん(二〇) △三丁目一九 傳十氏養女山崎セイ(三四)

博覽會の大綱

陸海軍兩省が後援

萬全を期し着々準備進む

博覽會の趣意書

明春花の平町を飾る國防と滿蒙博覽會は既報の如く四月一日から三十日間に亘つて平町仲町の町有地舊博覽會場跡に於て平町主催、陸軍省及び海軍省後援の許に開催されるが平町では之が遺漏なきやう萬全を期して着々準備を重ねて居りけふ午後一時から第二次委員會を開き具体案を熟議した結果陸海軍兩省の後援を得て第一館を國防館、第二館を滿蒙館、第三館を一般産業品陳列とし觀覽時間は毎日午前九時から午後九時まで觀覽料は大人二十錢(二十人以上團體割引)小人十錢小學生團體五錢とし左の如く役員を推薦した外大會の會則出品規定を決定したが近く各方面に出品勸誘状を發送する筈

△會長青沼鋒太郎△副會長萩原義雄 佐々木龍若
△理事長酒井助役△常務理事伊藤一△理事松崎長太郎 堀喜一 多田井笑次郎 佐藤幸太郎 鈴木光吉 會川延太郎 新井滋造 吉田金作 小松茂 綠川喜三郎 花澤久一郎 根本品藏 荒川淺次郎 吉村安治郎

生徒の手に成る パザール宣傳ピラ

けふから町の要所に提出

磐女にては過般來三年生より來る二十八、九の兩日開催するパザール宣傳のボスター圖案を募集中であつたが此程同校酒井係教諭審査の結果入選者を左の如く決定直ちに四年生の有志と共に製作本日町の要所に掲示した

熊安子 峯房子 谷川マサ子 直井ユキ 小湊都子 白土ワカ 小泉哲子 吉田千恵子 田邊美那子 齊藤喜代子

熱演に 觀衆酔ふ

昨夜の聚樂館

平町助成會主催すわらじ劇團「演劇の夕」第一夜は昨二十二日午後六時半から平町聚樂館で催され青沼町長の主催者代表挨拶あり滿場の觀衆は何れも熱ある好演

竣工式を前に 最後の仕上げ 高麗橋の竣工式も愈々目捷



明日のラジオ 今晩も明日も北 西の風晴後曇

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 宮城道雄社中 筆曲
- 後六、二五 英語講座 (三の六) 岡田哲藏
- 後七、三〇 講演「歐米の醫學醫術に表れたる近時」
- 後八、〇〇 歌謡曲 眞鍋嘉一郎
- 後八、三〇 東海道演藝道中(第八夜) 解説徳川夢聲
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

問題の蘭領印度へ

平局からモシク

來る廿六日から通話開始

既報滿洲、臺灣、ヒリツピンと次第に國際電話の區域を擴張した平郵便局では來る廿六日より蘭領印度諸島との通話を開始する事になつたが通話區域はジャバ島マドリード島平局間が一通話六十圓、スマトラ北部セレス島のマカッサール局間が八十圓でモシクと呼べる譯である

通話止め 僅か九名

けふを最後

平郵便局では九月分電話の市外通話料を去る廿日迄に整理中であつたが全納附者六百三十名中期日迄に三百十三名が納附し残る三百十七名の未納者も其後續々納

明日の部

- 前六、三〇 實用文講座 吉川 秀雄
- 前七、〇一 聖典講義「阿含經」(八) 友松 圓諦
- 後九、一〇 料理献立 笹倉 定次
- 前一〇、三〇 婦人文學講座「新古今集講義」(一) 石井直三郎
- 後〇、〇五 モダン小咄
- 後二、〇〇 母の時間「子供の遠足と競技」文部省 學校衛生官醫學博士
- 後六、〇〇 (子供の時間) 獨唱 納所 米子
- 後六、二五 基礎英語講座 (二七) 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「農村の工業化」工學博士子爵 大河内正敏
- 後八、〇〇 東海道演藝道中(第九夜) 解説 徳川 夢聲
- 後九、〇〇 長唄 稀音家六花外大勢

大洗から筑波 平穀

物検査所及び平農業倉庫の職員は聯合して來月三日の明治節當日自動車に分乗茨城縣大洗海岸から筑波山登山を試み即日歸平すると

櫻丘會の打合

來る十一月四日ジエームス

丹夫妻を招き獨唱とピアノの演奏會を催す磐女櫻丘會は本日午後一時より役員會を開きこれが準備に就いて打合せた

松林で婦女脅迫

犯人植田町を徘徊中捕る

草野村大字神谷木下庄衛妻相しさを(三)さんが去る十八日午後四時頃實家の村祭りで大浦村字細谷の松林を通行中一名の怪漢が突然立ちふさがり金を出せと脅迫中通行人の來る氣配を見て逃走した四倉署で嚴探中であつたが二十二日植田町を徘徊中同署に檢舉された双葉郡久之濱町田の綱日雇業佐藤秀吉が犯人と判明

周旋屋誘拐か 平町 古鍛冶町一八田口健氏方居住茨城縣東茨城郡吉田村高次郎長女松本シヅ(一七)は今年四月から叔父に當る前記田口宅に同居中去る十二日午前九時頃家出、行方不明となつたがシヅは平生カフエーの女給に憧れてゐた点から或は悪周旋屋に誘拐されたのではないかと二十三日叔父から平署に搜索願



田邊南龍(作) 山本英春(監)

比翼の由來

「ナニ、花魁が珠敷を忘れたといふから、本堂へ見に行つたがないんだよ」

「さうかい、どうしたんだ」と二人で権八墓所へ参りますと、這は如何に小紫が血に染まつて倒れてをります。

「アレ、花魁が、菊藏どん大變だ、花魁が自害をなすつた」

「之アマア大變な事になつた」

と庫裡へ飛んで來て「大變だ〜」と怒鳴つた瑞川が

「何が大變だ」「花魁が自害をしました」「夫は……」

と、瑞川早速に來つて見ると豫て三浦屋を出る時から覺悟をして用意したものが、剃刀を以て咽喉を見事に搔つ切り、血に染んで倒れてをります、介抱をして見ましたが最早事切れてをります、帯の間に何やら入つてゐるから取出して見ると、二通の書置、一通は三浦屋四郎右衛門へ宛たもので又一通は瑞川へ宛たものでございませうから、開封して見ると

「誠に御迷惑を掛けて相済みませんが、権八様は妾ゆゑに斯ういふ事におなりなされたのだから、申譯の爲自害を致してお跡を慕ひ蓮の臺で夫婦になる心何卒埋葬其他宜しくお願ひ申しませう」

も大きに驚き早駕を飛ばして参り「花魁、立派におやんなすつたどうでもお前は平井さんの亡き後は、残つてお勤めをする者ではないと、私はお前の心を見ぬいてゐたどうかお住持様此の死骸は平井さんの墓へ一緒に葬つてやつて頂きたい」



と書いていますから瑞川も「あゝ感心な女よ」と涙を流しました。菊藏は宙を飛んで吉原へ立戻り、主人四郎右衛門に注進を致す、三浦屋に於て

の供養の爲めに禁金院へ参り此の話を聞いて大きに驚き且つ感心を致し、そこで打揃つて懇に湯權をして權八の墓へ一ツに埋めてやりました、三浦屋四郎兵衛が永代の祠堂金を納めました之が今に目黒の比翼塚

でございませう。さて長兵衛は、権八の一件も片附きまして、その内に日光へ行つてをつた水野十郎左衛門を始め、近藤、池田の旗本連中も江戸へ歸つて参りましたから、身内の者と相談を致し、愈々近水野の屋敷へ斬り込まうといふ約束を致しました、處が水野の屋敷から長兵衛の處へ、明日正午の頃當屋敷へお出でを願ふといふ町噺に迎へる者を遣しました夫を聞いて、權兵衛、市郎兵衛等が

「元締、決して行つてはいけません、卑怯な十郎左衛門、お前さんが行けば屹度欺し討にするに違ひないから、明日の正午には行かすにおいて、夜になつたら突然に大勢で押掛けてやつて了ひませう」といふのを長兵衛は押し止めて

「マア俺に考へがあるから任して置け」と水野の方へは、必ず参上致しますと返事を出しました。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

味覺の秋!! 仙の干やなぎ 賣初めました 其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛 平町土橋 鈴藏魚店 電話六六二番

魂の入つた 機關銃印の自轉車 日章旗の如く輝く特長 一、全部鋼鐵、特種壓搾製 二、自動注油、防水防塵、裝置 三、ヘッド及びホークのスプリング作用 斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。 機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓 戰車の如く頑強だと御評判を賜りました。 フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓 永年修繕費のかゝらぬ 兩車の御利用を切に御願ひ申し上げます

フタバ商會 平・新川町・月見橋際 豫て御高評を蒙り居り候江の島料理本店自慢の水たき相始候間一層の御評判被下度候 尚ほ季節料理として松茸料理も種々仕可候へば宜敷御賞味の程御願ひ申上候 割烹旅館 住吉屋本店 電話一五九番 此度檜舞臺を宴會場に設けました何卒御利用下さる

石炭 一俵廿二錢ヨリ 多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。 平町十五丁目 電話四六番 エビスヤ燃料店 東洋火災保險株式會社平中央代理店